令和3年度 第41回卒業証書授与式 式辞

肌を刺すような冷たい外気がいつのまにかやわらぎ、吹く風に春の訪れを感じられるこの佳き日に、多くの保護者の皆様のご列席の下、令和3年度、第41回磐田市立南部中学校の卒業証書授与式を挙行できますことを心より嬉しく思います。

また、本日は、磐田市教育委員会、教育総務課主幹、原 隆秀 (はら たかひで)様のご臨席を賜り、本校卒業式が挙行できます ことに、心からお礼申し上げます。ありがとうございます。

ただ今、卒業証書を授与しました 161 名の卒業生の皆さん、卒業 おめでとうございます。皆さんが緊張と希望、期待を胸に入学した日 から、三年が経過しました。皆さんにとってこの南部中学校で過ごし た3年間はどんな時間でしたか。2年生、3年生のこの2年間は新型 コロナウィルスの感染拡大によって、これまで当たり前だと思って いた学校生活や日常生活を当たり前に送ることができない日々が続 きました。しかし、卒業生の皆さんは、このような厳しい状況の中で、 今ここにいる仲間や先生方、そして家族と力を合わせ、たくましくコ ロナ禍を乗り切り、成長してきました。

最上級生となった今年度は、磐周地区で初めてとなる金沢を始め とする北陸への修学旅行を、感染防止に努めながら見事に成功させ てくれました。最後となった躍友祭や緑友祭でも、実施できる喜びを 体一杯に表現しながら、練習から本番まで 3 年生にふさわしい、下 級生の手本となる姿で全力で取り組みました。また、生徒会活動では、

「Our Story 生徒みんなが主人公」というスローガンを掲げ、コロナ禍で活動に制限がある中、本部や専門委員会で工夫を凝らした活動を行い、南部中に活気をもたらしました。このように、皆さんがこの一年で見せてくれた姿からは、今年の南部中のキーワード「主体性の発揮」の真の姿を見て取ることができました。私たち職員から見れば、そんな皆さんは「自慢の南部中生」でした。

さて、皆さんは今日この南部中学校を卒業していきますが、皆さんの「なりたい自分探しの旅」は、これからもまだまだ続いていきます。その旅の道中には、情報化、グローバル化が更に進み、今ある情報が、数ヶ月後には古くて使い物にならなくなったり、今人間が行っている仕事がAIやロボットに取って代わられたりと、言わば「変化の激しい予測困難な社会」、「正解が一つとは限らない社会」が待ち受けています。このような時代を、誰もが不安や葛藤を抱えながら生きていくことになります。

皆さん「成功」という言葉の対義語は何だと思いますか。多くの人の頭の中には「失敗」という言葉が浮かんだと思います。国語のテストならそれで正解ですが、私はそうは思いません。「失敗」は「成功」と結果が紙一重の「同意語」であり、それらの反意語は「何もしないこと」を選択するか、「何かに挑戦すること」を選択して、失敗しながらも成功を夢見てワクワクする時間を過ごすか、その違いは「なりたい自分探しの旅」において非常に大きな差となって表れるでしょう。ぜひ新しいステージでも、自らの想像カや判断力を働かせて、この南部中で得たこと、学んだことを次へのエネルギーに変えて、新たなチャレンジを続けてください。

保護者の皆様、本日はお子様の御卒業本当におめでとうございます。15年間のさまざまな喜びやご苦労を思い出されると共に、立派に成長したお子様の姿にその感激もひとしおのことと思います。

また、今日まで、本校の教育活動にお寄せいただきました御理解と 温かい御支援に対しましても、心からお礼を申し上げるとともに、卒 業生のこれからを温かく見守っていただけますようお願い申し上げ ます。

おわりに、私の好きな曲である、AKB48が歌った「365日の紙飛行機」の歌詞を皆さんに贈り、式辞の結びとしたいと思います。

朝の空を見上げて 今日という一日が 笑顔でいられるように そっとお願いした 時には雨も降って 涙も溢れるけど 思い通りにならない日は

明日頑張ろう

ずっと見てる夢は 私がもう一人いて やりたいこと 好きなように自由にできる夢

人生は紙飛行機 願い乗せて飛んで行くよ 風の中を力の限り ただ進むだけ その距離を競うより どう飛んだか どこを飛んだのか それが一番大切なんだ さあ心のままに365日 人生は紙飛行機 愛な乗せて飛んでいるよ 白信持って広ばる羽根

人生は紙飛行機 愛を乗せて飛んでいるよ 自信持って広げる羽根をみんなが見上げる 折り方を知らなくても いつのまにか飛ばせるようになる それが希望 推進力だ ああ 楽しくやろう365日

君たちが人生という紙飛行機をこれからも力強く飛ばし続けることを祈念し、式辞といたします。

令和4年3月17日 磐田市立南部中学校 校長 小嶋久典

